



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 出光興産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5019 URL <https://www.idemitsu.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木藤 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部IR室長 (氏名) 茂木 大輔 TEL 03-3213-9307
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,204,695	69.3	233,633	109.9	244,992	98.2	179,321	102.9
2022年3月期第1四半期	1,302,263	32.5	111,305	—	123,600	—	88,380	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 191,526百万円 (69.1%) 2022年3月期第1四半期 113,267百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	603.16	—
2022年3月期第1四半期	297.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,153,610	1,595,386	30.5
2022年3月期	4,601,183	1,436,512	30.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,570,662百万円 2022年3月期 1,412,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	110.00	170.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 2. 2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 50円00銭（創立110周年記念配当）

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,260,000	38.5	375,000	△13.7	400,000	△12.9	280,000	0.2	941.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 （社名）西部石油株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	297,864,718株	2022年3月期	297,864,718株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	565,119株	2022年3月期	561,317株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	297,302,757株	2022年3月期1Q	297,268,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内の主な石油製品需要は、新型コロナウイルス感染者数の漸減やまん延防止等重点措置の解除などにより、主燃料、航空機向けともに増加しました。

原油価格は、欧米諸国を中心に行動規制緩和による需要回復により上昇基調で推移しており、また、供給面においては、4月以降もOPECプラスは協調減産を継続した影響およびウクライナ情勢などにより、需給バランスはタイトな状況が継続しました。この結果、ドバイ原油価格の4～6月平均は前年同期比41.1ドル／バレル上昇の108.1ドル／バレルとなりました。

(原油価格、為替レート of の状況)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	
ドバイ原油 (ドル／バレル)	66.9	108.1	+41.1	+61.4%
為替レート (円／ドル)	109.5	129.6	+20.1	+18.3%

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、原油価格の上昇および円安影響などにより2兆2,047億円（前年同期比+69.3%）となりました。

営業利益は、燃料油セグメントにおける原油価格の上昇に伴う在庫評価影響やタイムラグ影響、資源セグメントにおける石炭価格上昇などにより、2,336億円（前年同期比+109.9%）となりました。

営業外損益は、ほぼ前年並みの114億円（前年同期比△7.6%）の利益となりました。その結果、経常利益は2,450億円（前年同期比+98.2%）となりました。

特別損益は、西部石油株式会社の連結子会社化に伴い段階取得に係る差損が発生した一方、国内子会社の固定資産売却などにより、89億円（前年同期比+18.9%）の利益となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を合わせた税金費用は、税金等調整前四半期純利益の増加により747億円（前年同期比+85.2%）となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,793億円（前年同期比+102.9%）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内子会社が3月であるため、当第1四半期連結累計期間の業績については、海外子会社は2022年1月～3月期、国内子会社は2022年4月～6月期について記載しています。

セグメント別売上高

(単位：億円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
燃料油	9,987	17,542	+7,555	+75.6%
基礎化学品	1,218	1,877	+660	+54.2%
高機能材	951	1,204	+253	+26.7%
電力・再生可能エネルギー	257	364	+107	+41.7%
資源	603	1,054	+451	+74.7%
その他	7	6	△1	△18.8%
合計	13,023	22,047	+9,024	+69.3%

セグメント別利益又は損失(△) (営業損益+持分法投資損益)

(単位: 億円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	
			増減額	増減率
燃料油 (在庫評価影響除き)	989 (296)	2,166 (574)	+1,177 (+278)	+119.1% (+93.9%)
基礎化学品	67	81	+14	+20.6%
高機能材	43	33	△10	△23.7%
電力・再生可能エネルギー	△10	△37	△27	—
資源	130	317	+187	+144.4%
その他	1	0	△0	△51.1%
調整額	△24	△119	△96	—
合計 (在庫評価影響除き)	1,196 (503)	2,441 (849)	+1,245 (+346)	+104.2% (+68.8%)

[燃料油セグメント]

燃料油セグメントの売上高は、原油価格の上昇などにより1兆7,542億円(前年同期比+75.6%)となりました。セグメント損益は、原油価格上昇に伴う在庫評価影響やタイムラグ影響および好調な輸出マージンなどの増益要因により2,166億円(前年同期比+119.1%)となりました。

[基礎化学品セグメント]

基礎化学品セグメントの売上高は、ナフサ価格が上昇したことなどにより1,877億円(前年同期比+54.2%)となりました。セグメント損益は、ミックスキシレンをはじめとした製品マージンの改善などにより81億円(前年同期比+20.6%)となりました。

[高機能材セグメント]

高機能材セグメントの売上高は、1,204億円(前年同期比+26.7%)となり、セグメント損益は、機能化学品事業における一部製品のスプレッド縮小や潤滑油事業における油価上昇に伴う価格転嫁の遅れなどにより33億円(前年同期比△23.7%)となりました。

[電力・再生可能エネルギーセグメント]

電力・再生可能エネルギーセグメントの売上高は、364億円(前年同期比+41.7%)となりました。セグメント損益は、電力事業における卸市場価格の上昇に伴う調達コスト上昇などにより△37億円(前年同期比△27億円)となりました。

[資源セグメント]

(石油・天然ガス開発事業・地熱事業)

石油開発事業は、ノルウェー子会社の持分法適用会社への変更などの影響により、売上高は83億円(前年同期比△67.0%)となり、セグメント損益は、65億円(前年同期比△47.0%)となりました。

(石炭事業・その他事業)

石炭事業・その他事業の売上高は、石炭価格の上昇などにより、971億円(前年同期比+175.5%)となりました。セグメント損益は、251億円(前年同期比+245億円)となりました。

以上の結果、資源セグメント合計の売上高は、1,054億円(前年同期比+74.7%)、セグメント損益は、317億円(前年同期比+144.4%)となりました。

[その他セグメント]

その他セグメントの売上高は、6億円(前年同期比△18.8%)となり、セグメント損益は、0億円(前年同期比△51.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明
要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減
流動資産	23,681	28,316	+4,635
固定資産	22,331	23,220	+889
資産合計	46,012	51,536	+5,524
流動負債	20,613	24,022	+3,410
固定負債	11,034	11,560	+526
負債合計	31,647	35,582	+3,936
純資産合計	14,365	15,954	+1,589
負債純資産合計	46,012	51,536	+5,524

①資産の部

資産合計は、原油価格の上昇などによる棚卸資産の増加等により、5兆1,536億円（前期末比+5,524億円）となりました。

②負債の部

負債合計は、未払法人税等の増加、短期借入金および長期借入金の増加等により、3兆5,582億円（前期末比+3,936億円）となりました。

③純資産の部

純資産合計は、配当金の支払い328億円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益1,793億円の計上などにより、1兆5,954億円（前期末比+1,589億円）となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の30.7%から30.5%へ0.2ポイント減少しました。また当四半期末のネットD/Eレシオは0.9（前期末：0.9）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2022年5月10日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,281	161,415
受取手形及び売掛金	870,483	859,518
棚卸資産	1,060,205	1,418,008
未収入金	242,860	299,898
その他	55,283	93,994
貸倒引当金	△1,026	△1,226
流動資産合計	2,368,088	2,831,609
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	286,611	289,302
土地	779,921	777,992
その他（純額）	371,277	405,420
有形固定資産合計	1,437,810	1,472,715
無形固定資産		
のれん	149,691	147,535
その他	158,937	156,520
無形固定資産合計	308,628	304,056
投資その他の資産		
投資有価証券	261,095	271,781
その他	228,121	276,109
貸倒引当金	△2,561	△2,662
投資その他の資産合計	486,655	545,228
固定資産合計	2,233,094	2,322,000
資産合計	4,601,183	5,153,610
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	840,834	880,341
短期借入金	369,043	537,636
コマーシャル・ペーパー	237,000	250,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払金	390,920	463,409
未払法人税等	39,908	90,275
賞与引当金	13,942	6,863
その他	159,622	163,718
流動負債合計	2,061,273	2,402,244
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	590,767	615,138
退職給付に係る負債	71,648	72,162
修繕引当金	67,527	76,960
資産除去債務	44,914	49,047
その他	198,539	212,670
固定負債合計	1,103,397	1,155,979
負債合計	3,164,670	3,558,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,351	168,351
資本剰余金	460,507	460,403
利益剰余金	645,330	791,795
自己株式	△1,883	△1,881
株主資本合計	1,272,306	1,418,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,443	3,859
繰延ヘッジ損益	△5,236	△7,332
土地再評価差額金	157,154	157,250
為替換算調整勘定	△26,762	△12,100
退職給付に係る調整累計額	11,196	10,315
その他の包括利益累計額合計	139,795	151,992
非支配株主持分	24,410	24,724
純資産合計	1,436,512	1,595,386
負債純資産合計	4,601,183	5,153,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,302,263	2,204,695
売上原価	1,091,487	1,859,103
売上総利益	210,775	345,592
販売費及び一般管理費	99,470	111,959
営業利益	111,305	233,633
営業外収益		
受取利息	2,077	830
受取配当金	1,619	1,123
持分法による投資利益	8,260	10,464
為替差益	1,234	896
その他	2,545	1,392
営業外収益合計	15,737	14,707
営業外費用		
支払利息	2,805	3,004
その他	637	343
営業外費用合計	3,443	3,348
経常利益	123,600	244,992
特別利益		
固定資産売却益	3,982	15,910
過去勤務費用償却益	2,144	—
その他	2,408	1,556
特別利益合計	8,535	17,466
特別損失		
減損損失	357	207
固定資産売却損	4	244
固定資産除却損	536	868
段階取得に係る差損	—	7,223
その他	175	52
特別損失合計	1,073	8,595
税金等調整前四半期純利益	131,061	253,862
法人税等	40,330	74,688
四半期純利益	90,731	179,174
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,351	△147
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,380	179,321

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	90,731	179,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204	348
繰延ヘッジ損益	△938	△2,668
土地再評価差額金	0	96
為替換算調整勘定	23,594	15,515
退職給付に係る調整額	△2	△914
持分法適用会社に対する持分相当額	87	△26
その他の包括利益合計	22,536	12,351
四半期包括利益	113,267	191,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,281	190,879
非支配株主に係る四半期包括利益	3,985	646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針等の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(リース ASU第2016-02号)

当会計基準はリースの借り手において、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識すること等を要求しています。主に米国の在外連結子会社に対して適用していますが、適用による影響は軽微です。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 4
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	998,694	121,774	95,085	25,685	60,327	1,301,566	696	1,302,263	—	1,302,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,508	7,160	4,053	588	0	19,311	352	19,664	△19,664	—
売上高計	1,006,202	128,935	99,138	26,274	60,328	1,320,878	1,049	1,321,928	△19,664	1,302,263
営業利益又は営業損失 (△)	92,924	6,573	3,671	△937	12,561	114,793	53	114,846	△3,540	111,305
持分法投資利益又は 損失(△)	5,952	146	625	△35	403	7,092	—	7,092	1,168	8,260
セグメント利益又は 損失(△)	98,877	6,719	4,297	△973	12,964	121,885	53	121,938	△2,372	119,565

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. 営業利益又は営業損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. 持分法投資利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法適用会社に係るものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資利益とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 4
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,754,184	187,737	120,427	36,394	105,386	2,204,130	565	2,204,695	—	2,204,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,618	10,053	5,912	1,278	1	28,864	480	29,345	△29,345	—
売上高計	1,765,803	197,790	126,339	37,673	105,387	2,232,994	1,046	2,234,041	△29,345	2,204,695
営業利益又は営業損失 (△)	209,598	8,225	3,241	△3,276	28,814	246,602	25	246,628	△12,995	233,633
持分法投資利益又は 損失(△)	7,008	△118	36	△396	2,875	9,405	—	9,405	1,058	10,464
セグメント利益又は 損失(△)	216,606	8,107	3,278	△3,673	31,689	256,008	25	256,033	△11,936	244,097

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. 営業利益又は営業損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. 持分法投資利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法適用会社に係るものです。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資利益とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。